

2011年8月30日

横浜ゴムの中国のコンベヤベルト工場、第一期植樹祭を実施

横浜ゴム（株）の中国におけるコンベヤベルトの生産販売会社、山東横浜ゴム工業製品有限公司（SHANDONG YOKOHAMA RUBBER INDUSTRIAL PRODUCTS CO., LTD.=YRSC）は8月20日（土）、山東省濰坊市にある同社工場敷地内で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第一期植樹祭を開催した。

YRSCは、宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）が潜在自然植生*をベースに考案した宮脇方式に基づく植樹を計画。宮脇氏と共に中国各地で宮脇方式による植樹活動を行っている達良俊博士（中国・華東師範大学教授）から、現地環境に適した樹種の選定や苗木の調達先の斡旋、植樹後の手入れなどについて指導を仰いだ。当日はYRSCの王永堂董事長や従業員、その家族に加え、地元の自治体、地域住民など合計390名が参加した。また、日本から宮脇氏、横浜ゴムの高岡洋彦常務執行役員も参加し、10種、2,280本を植樹した。このうち8割にあたる約1,800本はYRSCで育てた自前の苗を使用した。

※植物生態学にある概念で、人間の影響がなくなった場合に、気候や立地条件から成立するであろう自然植生を理論的に類推したもの。

YRSCは、海外の需要が旺盛なコンベヤベルト事業の強化を目的に2006年1月、横浜ゴムの中国の事業統括会社である横浜ゴム（中国）有限公司が中国のコンベヤベルトメーカー山東躍馬ベルト有限公司と設立した合弁会社。資本金は2,070万USドル（出資比率77%：23%）、従業員数は330人（2011年7月末現在）。

横浜ゴムは、創業100周年の2017年に向けて国内外の全生産拠点に50万本植樹し杜を創生する「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトを2007年にスタートした。YRSCの植樹により、2011年8月までの植樹本数は合計20万本を越えている。



参加者による集合写真



植樹の様子

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570